



鎮守の森だより

NPO法人社叢学会ニュース

第88号

2017年7月1日

平成29年度年次総会を大神神社大禮記念館で開催

国のまほろばを味わい尽くした2日間

平成29年度総会・研究大会並びにシンポジウムを、6月18日(日)に大神神社大禮記念館(桜井市)で開催した。研究発表やシンポジウムのほか、前日の見学会にも関心は高く、2日間で延べ140人以上の会員が参加した。

総会では菌田稔理事長の開催挨拶の後、鈴木寛治大会実行委員長(大神神社宮司)が、挨拶を兼ねて大神神社の知られざるエピソードを紹介。冒頭から奈良の歴史の一端を知る機会となった。

総会では塩谷崇之理事を議長に選出。正会員総数229名のうち委任状を含む165名の出席を得て、平成28年度事業報告・収支決算、平成29年度事業計画・収支予算、定款変更、監事の退任について審議承認、「東日本大震災被災地における被災社叢復興と復活への取り組み」事業、伏見稻荷大社社叢管理実験地事業、社叢インストラクター事業について報告した。

今年度の事業計画としては、今年度も花博記念協会からの助成金を加えた梅田善美震災復興プロジェクト事業で、被災直後から継続してきた東日本大震災被災地社叢調査の成果出版に、引き続き取り組むこと、伏見稻荷大社社叢管理実験地事業

の継続、「社叢見守り隊」事業の一層の充実拡大を目指していくこと、などがあげられている。

また、予てより退任の意向を漏らされていた和田萃監事の退任を了承した。

続いての研究発表では渡辺弘之副理事長が自ら楽しみながらの研究成果を、岡村穰理事は研究生生活の集大成を発表。さらに関東・関西から、それぞれの社叢見守り隊活動を報告した。午後からのシンポジウムでは、菌田理事長が基調講演で、三輪王朝と大神神社創建の関わりや大和盆地の宗教風土について論を展開した。続くパネルディスカッションでは、それぞれは専門の立場から、大和における三輪山の重要性を指摘した。

前日の見学会では60人近くが三輪山に登拝。それぞれの体調に合わせて奥津磐座、中津磐座を目指した。午後からは石上神宮で正式参拝、大和神社、桧原神社を訪れ、そこから山の辺の道を辿って大神神社へ、さらに橿原神宮で正式参拝の後、畝傍山を背景に記念撮影をして解散した。

梅雨の合間のからりと晴れた爽やかな1日、ササユリの優しい花に迎えられ、のどかな中にも歴史の厚みを実感した一日となった。

社叢インストラクター養成セミナー

8月に埼玉県で開催!

社叢インストラクター養成セミナーをいよいよ関東で開催する。開催日は8月11日(金・祝)・12日(土)の2日間で、開催地は岩槻総鎮守・久伊豆神社(さいたま市岩槻区宮町)、越谷総鎮守・久伊豆神社(越谷市越ヶ谷)。いずれも豊かな社叢で定評がある。

今回は、朝の清々しい社叢を実感してもらうために、両日とも正式参拝の後、まず社叢を散策する。講義では、菌田稔理事長による社叢の歴史と文化や、昨今、避けて通れない社叢の法

律問題を、現役の弁護士である塩谷崇之理事が説明する。

また、このセミナーの核である調査実習では、こうした生態調査の重要性を学んだ上で実際に社叢に入り、樹木調査で得た結果からその社叢の実相を表現する手法や、植物同定の方法を学ぶ。

盛夏の社叢は、様々な生き物が生命を謳歌する舞台。例年にも増して有意義な2日間となるだろう。詳細は挟み込み面参照。

第1号議案

平成28年度事業報告書
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所
通常総会の開催 関連事業の開催	年次総会・シンポジウム・研究発表会 見学会(鹿島神宮・香取神宮)	6月19日 6月18日	鹿島神宮 鹿島神宮・香取神宮
理事会の開催(4回) 第46回 第47回 第48回 第49回	平成28年度総会開催 等 正副理事長の選任について 平成29年度総会開催について 等 平成29年度総会運営、定款の変更 等	6月18日 6月23日 11月25日 3月6日	鹿島神宮 社叢学会事務局 真和総合法律事務所 社叢学会事務局
定例研究会の開催 関西 第71回 第72回 第73回 第74回 第76回 関東 第69回 第70回 第71回 第72回	春日大社の社叢・御蓋山ナギ林 滋賀県で進む過度の社叢管理 〔報告〕伏見稲荷大社社叢におけるイチイガシ林復活の試み 大岩神社の社叢管理を考える 鎮守の森とコミュニティづくり - 人口減少社会とこれからの日本社会 東京の都市公園のはじまりから今日まで 「エネルギー」と「地域」をつなぐ鎮守の森 河川改修と鎮守の森保全のかかわりから学ぶこと 諏訪信仰と小宮の御柱祭	7月31日 9月24日 11月25日 1月28日 3月25日 4月23日 10月8日 12月10日 2月18日	伏見稲荷大社 みやこめっせ 伏見稲荷大社 大岩神社 伏見稲荷大社 國學院大學 國學院大學 國學院大學 國學院大學
社叢調査	亀岡市における調査	通年	亀岡市内各神社
社叢保存活動	伏見稲荷大社社叢管理実験地事業 社叢学会見守り隊事業	通年 月1回	伏見稲荷大社 関東(武蔵国) 関西(神戸市西部)
梅田善美および花博記念協会助成金震災復興プロジェクト事業	東日本大震災被災社叢の再調査等	7月～11月に 6度にわたって 実施	被災3県社叢
会員証発行	会員約420名分	通年	会員へ郵送
会報発行(6回)	「鎮守の森だより」(A4判・4～6ページ)	奇数月初旬	会員へ郵送
会誌発行	『社叢学研究』(A4判・90ページ)	3月初旬	会員へ郵送
社叢インストラクター養成事業 セミナーの開催 資格更新の認定	第12回社叢インストラクター養成セミナー 社叢インストラクター2名の資格更新を承認	11月19日・20日 3月6日	大宰府天満宮 本部事務局
ホームページおよびSNSの運営	会員並びに一般市民に対するPR	通年	インターネット

第2号議案

平成26年度事業会計収支決算
(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

科目	金額		科目	金額	
I 収入の部			II 支出の部		
1 会費収入			1 事業費		
正会員会費	985,000		総会関係費		708,790
市民会員会費	210,000		定例研究会費		118,888
賛助会員会費	1,650,000		会報「鎮守の森だより」関係費		332,503
協力会員会費	640,000	3,485,000	会誌『社叢学研究』関係費		450,800
2 事業収入			社叢インストラクター養成事業費		110,470
社叢インストラクター養成事業	162,000		梅田善美震災復興プロジェクト事業		891,046
書籍販売	36,000		社叢管理事業		171,375
総会関連事業	470,000	668,000	2 管理費		
3 委託金	1,000,000	1,000,000	雑給		1,800,000
4 助成金			旅費交通費		154,660
花博協会	600,000		通信費		162,316
夏原グラント	300,000	900,000	地代家賃		907,200
5 雑収入			租税公課		2
受取利息	16		事務用品費		85,719
エコポイント寄付金	14,458		支払手数料		56,296
その他寄付金	40,000	54,474	水道光熱費		8,439
当期収入合計(A)		6,107,474	雑費		21,600
当期収支差額(A)-(B)			当期支出合計(B)		5,980,104
前期繰越支出差額(C)					127,370
次期繰越収支差額(A)-(B)+(C)					263,075
					390,445

第3号議案

平成29年度事業計画書
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

事業名	事業内容実施	予定日等	実施予定場所等
通常総会の開催 関連事業の実施	年次総会・シンポジウム・研究発表 三輪山登拝と大和3大社参拝	6月18日 6月17日	大神神社 大神神社～石上神宮 ～橿原神宮
理事会の開催		3回程度	本部事務局等
定例研究会の開催 関西定例研究会 関東定例研究会 中部定例研究会 福岡県定例研究会	会員相互の研鑽、市民への啓発 会員相互の研鑽、市民への啓発 会員相互の研鑽、市民への啓発 会員相互の研鑽、市民への啓発	7月・11月・30年3月 7月・10月・12月・30年2月 1回程度 1回程度	伏見稲荷大社他 國學院大学他 太宰府天満宮他
社叢調査	亀岡市における調査	通年	亀岡市内各神社
社叢保存活動	伏見稲荷大社社叢管理実験地事業 社叢見守り隊事業	通年 通年	伏見稲荷大社 全国
梅田善美および花博記念協会助 成金震災復興プロジェクト事業	被災直後からの社叢調査研究を総 括する書籍の出版等	通年	本部・各支部および 被災3県社叢
会員証発行	平成29年度会員証約400名分	5月～	会員へ郵送
会報発行(6回)	「鎮守の森だより」情報と研究会報告	奇数月初旬	会員へ郵送
会誌発行	『社叢学研究』研究論文と情報	30年3月	会員へ郵送
社叢インストラクター 養成事業	社叢インストラクター養成セミナー等の開催 社叢インストラクター資格検定試験の実施 社叢インストラクタークラブの運営	8月11・12日 30年2～3月 通年	久伊豆神社(さいたま市 ・越谷市) 伏見稲荷大社等
ホームページおよびSNSの運営	会員並びに一般市民に対するPR	通年	インターネット

第4号議案

平成29年度収支予算書
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

科 目	金 額		科 目	金 額	
I 収入の部			II 支出の部		
1 会費収入			1 事業費		
正会員会費	975,000		総会関係費	550,000	
市民会員会費	207,000		定例研究会費	120,000	
賛助会員会費	1,650,000		「鎮守の森だより」関係費	350,000	
協力会員会費	640,000	3,472,000	『社叢学研究』関係費	380,000	
2 事業収入			社叢インストラクター養成事業費	100,000	
社叢インストラクター養成事業	60,000		梅田善美震災復興プロジェクト事業	600,000	
資格検定料・認定料	10,000		社叢管理事業	270,000	2,370,000
養成セミナー等参加料	50,000		2 管理費		
書籍販売	10,000		雑給	1,800,000	
総会関連事業参加費等	450,000	520,000	旅費交通費	150,000	
3 梅田善美震災復興プロジェ クト委託金	1,000,000	1,000,000	通信費	150,000	
4 助成金			地代家賃	907,200	
花博協会	257,000		租税公課	2	
夏原グラント	300,000	557,000	事務用品費	50,000	
5 雑収入			支払手数料	60,000	
利息	10	10	水道光熱費	10,000	
			雑費	0	3,127,202
			3 予備費	0	0
当期収入合計(A)		5,549,010	当期支出合計(B)		5,497,202
当期収支出差額(A)－(B)					51,808
前期繰越支出差額(C)					390,445
次期繰越収支差額(A)－(B)＋(C)					442,253

第5号議案 定款変更の件

1. 公告の方法について：特定非営利活動促進法の改正により貸借対照表の公告が必要となったため、第8章第54条の末尾に「ただし、法第28条の2第1項に規定する貸借対照表の公告については、この法人のホームページに掲載して行う。」を付け加える。
2. 監事の人数について：監事の期中退任に備えて監事の人数を3人から1人以上に変更し、第4章第13条(2)を「監事 1人以上」とする。
→ 4頁に続く

← 3頁続き

第6号議案 監事変更の件

監事の退任：和田 萃 監事の新任：補充せず

報告事項 「東日本大震災被災地における被災社
叢復興と復活への取り組み」事業の件、伏見稲荷
大社社叢管理実験地事業の件、社叢インストラク
ター事業の件

事務局から

- 平成29年度(2017年4月～2018年3月)の会費を頂
いた方には順次、会員証をお送りしています。
お手元に届いていない場合は、お手数ですが事
務局までお知らせください。
- 1面でもお知らせいたしました、社叢インス
トラクター養成セミナーを関東で開催いたしま
す。社叢を科学的に観察し分析するまたとない
機会です。また同時に、歴史や法律問題に関す
る講義を聞くことができるのも社叢学会ならで
はです。ぜひご参加ください。
- 『社叢学研究』16号への投稿募集が始まりまし
た。社叢学会は日本学術会議協力学術研究団
体に指定されております。研究者の業績評価にも
つながりますので、ぜひ、ご投稿ください。論
文のみならず、研究ノート、社叢訪問記や身近
な活動などの報告もお寄せください。
また、論文投稿の際の引用文献等の記載法に
ついて、近くHPにて公開いたします。ご参考に
なさってください。

- 総会シンポジウムの動画を会員限定で公開す
る準備を進めております。準備ができ次第、
HPにて観覧方法をご案内いたします。また、
「見守り隊」データにつきましてもHPへの掲
載準備中です。こちらは広く公開いたします。
それぞれの神社データへの付け足し、ご意見
も歓迎いたします。

編集後記

今回はと、と、見学会前日のことでありま
した。4時近くに届いたシンポジウムの配布資
料。大量の写真入りで8枚。トナーは大丈夫か
と、ちらりと頭をよぎったんです。でもね、
取り換えてから1週間以内。いつもは無くなり
ますよサインが出てから、なんだかんだと1ヶ
月は大丈夫なんだから今回も、と思いきや！
半分ほど終わったところでトナー切れ！ 叩い
ても傾けてもピクリともしません。ひえ～～～。
京都駅のYバシに走っていき、無事ゲット。
走って帰って印刷継続。やれやれ、すでに困憊
状態。。。

で、三輪山登拝組、意外に諦めが早く(?)、
柿の葉寿司のお昼をゆっくり味わい、午後の行
程へ。ここでもそこそこの歩行距離、皆さま、
お疲れさまでした！

で、総会。前日の理事会で議案書に大きな間
違いが発覚！ げっ、ごめんなさい!! 責任取
ってクビにして！ え、終身刑って?! そ、そ
れだけのご勘弁を!! (藤岡 郁)

次回予告【第75回関西定例研究会】

- ◆日 時：7月29日(土) 13:30～15:30
- ◆場 所：伏見稲荷大社儀式殿(伏見区藪ノ内町68)
- ◆テ - マ：「フロ」 今に残る社の残像
※「フロ」は出雲に散見される信仰対象地(物)で、森であることもある
- ◆講 師：西尾 良一(社叢学会会員)
- ◆コメント：上田 萌子(大阪府立大学大学院生命環境科学研究科助教)

掲 示 板

『原稿募集!』

『社叢学研究』第15号への投稿：論文、研究ノート、短報、資料紹介や調査報告(各400字
詰原稿用紙40枚以内)と「鎮守の森の活動報告(祭、音楽会、調査、ワークショップなどの実
施報告、抱える問題点など)」「社叢訪問記」(各1,200字程度)を募集いたします。
締め切りは、論文等10月31日(火) 活動報告等12月25日(月) いずれも必着。

* 書評欄では会員の皆さま方の著作を取り上げています。出版された方は、ぜひご献本下さい。

発行人 社叢学会事務局 〒604-8115京都市中京区雁金町373番地みよいビル303号
TEL075-212-2973 FAX075-212-2916
URL <http://www.shasou.org> E-Mail shasou@ams.odn.ne.jp
社叢学会関東支部 〒368-0041 秩父市番場町1-1 秩父神社社務所内
TEL080-1514-5032 E-Mail shasougakkai@hotmail.com